

5月22日は、『ほじょ犬の日』です!!

2002年（平成14年）5月22日に「身体障害者補助犬法」が成立し、5月29日に公布されました。

社会福祉法人「日本介助犬協会」が制定しています。

「身体障害者補助犬」とは、身体障害者の自立と社会参加に資するものとして、身体障害者補助犬法に基づき訓練・認定された犬のことです。

盲導犬・介助犬・補聴犬の3種のことで、身体に不自由がある人の日常生活における動作の補助をしてくれます。



『盲導犬』は、目の不自由な人の目となり、障害物や曲がり角の存在を知らせてくれます。

『介助犬』は、手や足に不自由がある人の手足となり、物を取ってきたり、ドアを開けたりしてくれます。

『聴導犬』は、耳が不自由な人の耳となり、玄関や電話の呼び出し音、目覚まし時計の音など、生活に必要な音を教えてくれます。

“補助犬とは” 『盲導犬』『介助犬』『聴導犬』の 3種類の犬たちの総称です。

盲導犬

大好きな人のために
いい仕事をするんだ
喜んでくれるから
うれしくなるよ!

介助犬

物を届けるのも
大好きです

聴導犬

あなたの笑顔が
見たいから
いつでもそばで
目をまわしてるよ



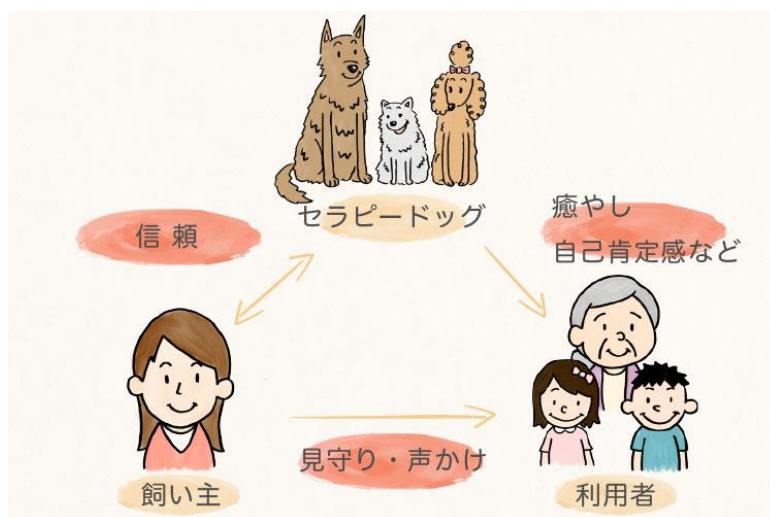
犬を活用するものとしては、この他に『**ドッグセラピー**』と呼ばれるものがあります。

『**ドッグセラピー**』とは、動物を使った治療方法である**アニマルセラピー**の一種で、高度に訓練された「セラピードッグ」を介在させることにより、**高齢者**や**認知症**、**自閉症**など様々な障害を持つ人々に対し心や身体のリハビリテーションを目的としたプログラムを実施することです。

一般の人々が犬と触れ合うことによって精神的情緒的安定や、身体的な運動機能回復効果が得られることを目的とした活動です。

セラピードッグは、人への忠誠心と深い愛情で、高齢者を始め、障がいを持つ方や病気（癌や精神）の治療を必要とする患者さんの身体と精神の機能回復を補助する役割を果たしています。

セラピードッグが患者さんの心身の状態と向き合い、リハビリに寄り添うことで動かなかった手や足が動くようになる効果もあるそうです。



このようなことから、福岡県では、アニマルセラピーの一環として「環境と動物と人とのより良き環境づくり」のための令和4年度障害者施設等への『**セラピー犬派遣モデル事業**』が計画されています。

この事業は、障がいのある子供たちの心理的、身体的、社会的な効果や生活の質の向上への寄与を目指すことになっています。

事業の成功とその成果に期待しています。

2022年5月22日

福岡ワンヘルス協議会・事務局